



響きの杜クリニック 院長
西谷雅史

1956年東京生まれ。北海道大学医学部卒業、医学博士、日本産科婦人科学会専門医、日本東洋医学学会専門医、日本ホリスティック医学協会理事、ひびきの杜ネットワーク主宰、西野流呼吸法札幌同好会主宰、玄心流日本拳法師範。自然治癒力を発揮できる医療と衣食住環境のネットワークづくりに力を入れている。

「もともと、人はいろいろな環境の影響を受けていて、電磁波や放射能、化学物質などが身体に影響を及ぼすことは分かっています。開業するころは、電磁波の問題がクローズアップされていまして、歯科のカルパニック電流の問題で、銀歯に電気がたまっていてアースをすることでその不調が良くなることも知っていました。そこで、クリニックを建てる時にいわゆる「イヤシロチ※1」になるような様々な方法を取り入れました。まずは、磁場の調整、床のオールアース化、壁の珪藻土に抗酸化加工を施し、さらに黄金比、家相学、風水も取り入れ、これでもかというくらい施設をつ

くりました。その甲斐あって、このクリニックに入ると何かが違うとか、からだが楽になると患者さんに言われるようになりました。ある時、電磁波過敏症の患者さんが来られて、「アーシング」で劇的に体調が良くなったことがありました。それ以来、体調不良の患者さんには、体電圧の測定後、シートを使ったアーシングをして症状の変化を確認するようになりました。そうしたら、体調不良で受診される患者さんのかなりの部分が、帯電による障害であることが分かったのです。更年期じゃないかと思っただけでも異常が見当たらず、何が原因か分からずに

苦しんでおられた方が、アーシングをすることでその場で見事に回復します。電気を抜くことで血管の収縮が一気に取れて、滞っていた血液が身体全体に流れたからです。実際、患者さんの反応が顕著でよく分かります。からだ温かくなり汗ばんできたり、肩こりが取れて、目がすっきりしてびっくりされます。私たちは生まれた時は、健康に生きるようにできているバランスの取れた存在です。しかし生きていく中で様々なストレスによりバランスを乱されると病気になるのです。本来、私たちの身体にはバランスの取れた状態に戻す力が備わっています。これが自然治癒力です。しかし大気汚染、電磁波、放射能など環境からの影響で自然治癒力の発揮が抑えられているのです。ですから、帯電をなくすることが自然治癒の発揮に繋がるのです。夜寝ている間にアーシングをしてあげば、朝には疲れがすっきり取れて心地よく起きることができのです。」

※上記の文章は、株式会社EM研究所の協力会社である株式会社レジーナが西谷雅史氏に取材したものを編集しています。

※1 イヤシロチとは…「植物生育の優勢地で人間の健康地でもあり、物質の耐久性を付与する地帯のこと。電気的には、還元電圧地帯」。簡単にいえば、そこにいるとなぜか気分が良くなり、植物がよく育ち、ものが腐りにくい場所のこと。逆に、この場所はどうも苦手と思ったり、ものが腐りやすかったり壊れやすい場所は「ケガレチ」といいます。ともに工学者・楳崎皇月氏(故)が発見した原理。

オールアース・電磁波のこと興味のある方は…

電磁波セミナー

参加費
無料!!

「アーシングとオールアース」

日々の生活の中で体内に溜まった電気をアーシング(放電)する方法をわかりやすく教えてください!体の中に溜まった電気を**体内電圧計**で測定したり、家電から発生する電磁波を測定するデモンストレーションも大好評♪

日時 2/25(日)・3/25(日)・4/22(日) 10:00~12:00

場所 株式会社EM研究所 3階会議室

対象 携帯や家電をお使いのすべての方が対象。お子様連れもOK。新築・リフォームを検討されている方は、施工前に参加されることをオススメします。

申込方法 前日までの予約制。電話またはFAXにてお申し込みください。FAXの場合は、参加希望の日・氏名・人数・連絡先電話番号を明記してください。

お申し込み
お問い合わせ
0120-309-831
FAX.054-277-0099



こんな方にオススメです!

- 携帯電話が手放せない方 ●オール電化の方
- 小さなお子様がいます方 ●これから家建てる方

好評につき出張セミナーも開催!!

グループで参加したい方は、ご希望の場所に電磁波インストラクターが伺います!お気軽にお問い合わせください(無料)。会場となるお宅は無料測定が出来ちゃいますよ!



出張セミナーの様子

株式会社EM研究所 静岡市葵区吉津666 TEL/054-277-0221 <http://www.emlabo.co.jp>

電気あるところに電磁波あり

電磁波と上手に付き合っていく方法【連載24回目】

アーシングの 必要性について学ぶ



私たちは日常生活の中で、知らず知らずのうちに電化製品から発生する電磁波を受け、体内に電気を溜め込んでいるそうです。

その量が増えるほど、体調や精神に影響を及ぼすと言われ、多くの専門家の方が警鐘を鳴らしています。

そうした対策の一つに電気を逃がす「アーシング」という方法が選ばれているのをご存知でしょうか?

そこで今回は専門家の一人、響きの杜クリニック院長 西谷雅史先生に電磁波についてのお話を伺い、

アーシングの必要性を皆さんに考えていただければと思います。

日常で受ける
電磁波
例えば…



電場と磁場の怖さについて

そもそも電磁波とは?と尋ねると、ほとんどの方が電化製品を使うと発生するものだと言います。それは半分だけ正解。電化製品をコンセントに繋いだ瞬間に電磁波は発生し、そのことを「電場」と呼びます。且つ電化製品のスイッチを入れることで発生する「磁場」があり、それら電場と磁場のことを総称して『電磁波』と呼ぶのです。ではその二つの違いは具体的にどのように私たちの体に影響を及ぼすのでしょうか?

【磁場】

電化製品を使用する際に発生する磁場は、スイッチを入れると同時に発生します。パソコンや電子レンジ、電気カーペット、ドライヤーなど、電磁波の影響が強いとされる電化製品の話は皆さんも聞いたことがあるでしょう。さらに発生した電磁波は強く、ほとんどの物質を突き抜けていきます。しかも電化製品本体からだけでなく、コードや配線からも発生するのです。

【電場】

通電しているコードや配線から常時発生する電場。手軽な対策はコンセントを抜くこと。しかし目に触れるコンセントコードはまだしも、壁や床の下に張り巡らした屋内配線はどこを通っているかわかりません。プレイカーを落とさないかぎり屋内配線からは常に電場は発生し、体に影響を及ぼす可能性があるのです。

